

各都道府県介護保険担当課（室）

各市町村介護保険担当課（室）

各介護保険関係団体 御中

← 厚生労働省 認知症施策・地域介護推進課

## 介護保険最新情報

### 今回の内容

「多様な主体による総合事業（サービス・活動A等）  
実施の手引き」及び「都道府県プラットフォーム  
構築の手引き」について

計8枚（本紙を除く）

Vol.1387

令和7年6月3日

厚生労働省老健局

認知症施策・地域介護推進課

【 貴関係諸団体に速やかに送信いただきますよう  
よろしくお願いいたします。 】

連絡先 TEL：03-5253-1111（内線 3986）  
FAX：03-3503-7894

事務連絡  
令和7年6月3日

各都道府県介護保険担当主管部（局）  
各市区町村介護保険担当主管部（局） 御中

厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課

「多様な主体による総合事業（サービス・活動A等）実施の手引き」及び  
「都道府県プラットフォーム構築の手引き」について（周知）

平素より厚生労働行政の推進にご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

高齢者の地域での生活は、医療・介護のみならず、地域住民や産業との関わりの中で成立するものであり、商業・交通・教育・農業・地域づくり等、高齢者の日常と深く関わる多様な分野の多様な主体の参画による「選択肢の拡大」が重要です。「介護予防・日常生活支援総合事業の充実に向けた検討会における議論の中間整理」（令和5年12月）においても、「地域の多様な主体が自己の活動の一環として総合事業に取り組みやすくなるための方策の拡充」として、

- ・ 市町村は、地域の多様な主体が、自己の本来的な活動と総合事業とを一体として採算性・運営の継続性等を確保することのできる事業をデザインするなど戦略的な対応
- ・ 民間企業などの地域の多様な主体は、市町村単位などの行政区画を意識して事業を展開しているケースは少なく、市町村やこうした多様な主体をつなげるためのキーパーソンとなる生活支援コーディネーター等との接点も少ない。このため、国や都道府県に生活支援体制整備事業のプラットフォームを構築し、総合事業と民間企業などの地域の多様な主体との接続を促進すること

が必要であるとされているところです。

このことを踏まえ、令和6年度老人保健健康増進等事業「高齢者の地域での日常生活における「選択肢」の拡大に関する調査研究事業」及び「地域の多様な主体が介護予防・日常生活支援総合事業に参画しやすくなる枠組みの構築に資する調査研究事業」（いずれも実施主体は株式会社日本総合研究所）において、「多様な主体による総合事業（サービス・活動A等）実施の手引き」及び「都道府県プラットフォーム構築の手引き」が作成され、下記のとおり株式会社日本総合研究所のwebサイトにおいて公表されたところです。

各都道府県及び市区町村におかれましては、地域の実情を踏まえた多様な主体の参画による総合事業の充実や生活支援体制の構築にあたり、これらの手引きをご活用いただきながら、庁内の各分野の所管部署や地域の多様な主体と連携の上で取組を進めていただきますようお願いいたします。

## 記

### ○株式会社日本総合研究所 web サイト

[https://www.jri.co.jp/service/special/content11/corner113/R6\\_rouken/](https://www.jri.co.jp/service/special/content11/corner113/R6_rouken/)

- ・ 高齢者の地域での日常生活における「選択肢」の拡大に関する調査研究事業  
⇒「高齢者の地域での日常生活における「選択肢」の拡大のための多様な主体による総合事業実施の手引き」 ※別添1参照  
([https://www.jri.co.jp/file/column/opinion/pdf/2504\\_mhlwkrouken\\_report\\_63\\_2.pdf](https://www.jri.co.jp/file/column/opinion/pdf/2504_mhlwkrouken_report_63_2.pdf))  
※ 上記手引きのほか、同事業の報告書には労働者協同組合や農村型地域運営組織（農村 RMO）、社会福祉法人の事例も掲載されています。
- ・ 地域の多様な主体が介護予防・日常生活支援総合事業に参画しやすくなる枠組みの構築に資する調査研究事業  
⇒「高齢者の生活支援を地域の多様な主体の共創により進める都道府県プラットフォーム構築の手引き」 ※別添2参照  
([https://www.jri.co.jp/file/column/opinion/pdf/2504\\_mhlwkrouken\\_report\\_64\\_2.pdf](https://www.jri.co.jp/file/column/opinion/pdf/2504_mhlwkrouken_report_64_2.pdf))

#### (参考1)

上記 web サイトには、同事業で作成した好事例の紹介動画や、多様な分野の委員によるパネルディスカッション動画についても掲載されていますので、ぜひご覧ください。

#### (参考2)

市町村において地域住民と地域の多様な主体との連携の推進をはかる観点から、令和6年度より「住民参画・官民連携推進事業」が実施可能となっています。 ※別添3参照

#### (参考3)

都道府県プラットフォームの構築にあたっては、地域医療介護総合確保基金（介護従事者確保分）の活用が可能となっています。

また、国（厚生労働省）において、多様な分野の全国規模の関係団体等が地域づくりのプレイヤーとして集い、交流することで、高齢者を支える生活支援の取組を共創していく基盤である全国版のプラットフォーム（生活支援共創プラットフォーム）の構築も進めています。現在、第1回オンラインシンポジウム動画を配信しておりますので、以下 URL からご参照ください。 ※別添4参照

[https://www.jmar.co.jp/topics/2025/0501\\_000562.html](https://www.jmar.co.jp/topics/2025/0501_000562.html)

厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課  
地域づくり推進室 地域包括ケア推進係  
電 話：03-5253-1111（内線 3986）

# 高齢者の地域での日常生活における「選択肢」の拡大のための 多様な主体による総合事業（サービス・活動A等）実施の手引き

- 高齢者の地域での生活は、医療・介護のみならず、地域住民や産業との関わりの中で成立するものであり、高齢者の尊厳と自立した日常生活を地域で支えていくためには、**市町村が中心となって**、医療・介護専門職がより専門性を発揮しつつ、高齢者や多様な主体を含めた**地域の力を組み合わせる**という視点に立ち、**地域をデザインしていく**が必要。
- 地域のデザイン・総合事業の充実にあたっては、地域のつながりの中で、医療・介護の専門職が関わり合いながら、高齢者の日常と関わる**多様な分野の多様な主体の参画による「選択肢」の拡大**という観点が重要。
- 本手引きでは、**多様な主体の参画により総合事業（サービス・活動A等）を実施する際のプロセスや類型の例**等を整理。



## こんな方向け

- ・ 総合事業（サービス・活動A）の本来の目的や意義を再確認したい！
  - ・ 総合事業の検討の進め方、多様な主体との関わり方を知りたい！
  - ・ 具体的な総合事業（サービス・活動A）のパターンや事例を知りたい！
- ※市町村の介護・福祉部局のご担当者様や地域の多様な主体のみなさまが、多様な主体による総合事業（主にサービス・活動A）の実施を検討する際に活用することを想定

## POINT

### 総合事業（サービス・活動A）の活用パターンを類型化

No.	①-1	①-2	①-3	②
モデル 名称	市場拡大のためにサービス・活動A実施	地域活性化のためにサービス・活動A実施	新規事業立ち上げのためにサービス・活動A実施	専門職介入サービスでのサービス・活動A実施
モデル の特徴	・市場拡大、利用者の拡大 ・サービス・活動Aを 利用して売上を上げる ・一部の利用者は自治 サービスに類似し、費用 負担となる	・地域個人、人が関わる 活動で、高齢者に社会 参加してもらい、社会 参加を促す ・同時に、事業継続できる 運営体制を築く	・サービス・活動Aを核 として、新たな事業を 立ち上げる ・新しいサービスの立ち 上げにより、地域の活 性を高める	・一般の専門職からの サービスとして、サー ビス・活動Aを実施 ・専門職の介入により、 課題を克服する
自治体 利便性の メリット	様々な生活課題のサー ビスの充実、自由に参 画サービスを実施するこ とができる	これまで地域になか たサービスを提供するこ とができる	これまで地域になか たサービスを提供するこ とができる	一般の専門職から、 専門職によるサービス を実施することできる
事例 イメージ	高齢者の生活支援サー ビス、訪問型介護サー ビス、買い物、移動 支援サービス	高齢者（新規事業）立 上げの活動、買い物、移動 支援サービス	高齢者（新規事業）立 上げの活動、買い物、移動 支援サービス	公共施設での活動
見込 イメージ	市場拡大	地域活性化	新規事業立ち上げ	専門職介入

### 各モデルの詳細説明と関連する事例の整理

①-1 市場拡大の事例

①-2 地域活性化の事例

①-3 新規事業立ち上げの事例

② 専門職介入サービスの事例

事例

合同会社MOREGROUP(シニア専門士landMORE)

事業概要

課題のポイント

## 手引きの内容

なぜ多様な主体の参画が必要なの？  
それによってどんな効果があるの？

### 第1章 高齢者の地域での日常生活における「選択肢」の拡大

1. 総合事業の充実に向けた基本的な考え方
2. 多様な主体の参画と地域全体のマネジメント

多様な主体によるサービス・活動を構築するためには、  
何からはじめたらいいの？

### 第2章 総合事業（サービス・活動A等）の実施プロセス

1. 総合事業（サービス・活動A等）の実施・検討プロセス

具体的には、どんなサービスが考えられるの？

### 第3章 総合事業（サービス・活動A）の事例の類型化と紹介

1. 総合事業（サービス・活動A）の活用の類型化 まとめ
2. モデル①-1 日常生活の支援サービス  
～市場拡大のためにサービス・活動A実施～
3. モデル①-2 日常生活の支援  
～地域活性化のためにサービス・活動A実施～
4. モデル①-3 日常生活の支援サービス  
～新規事業立ち上げのためにサービス・活動A実施～
5. モデル② 専門職介入サービス  
～専門職介入サービスでのサービス・活動A実施～

## POINT

多様な主体の参画による  
効果について記載

2 多様な主体の参画と地域全体のマネジメント

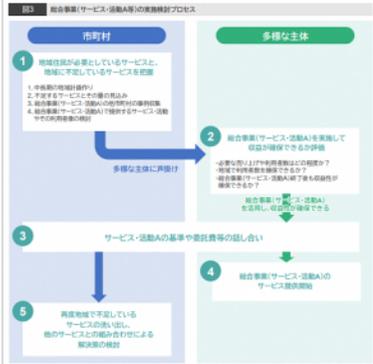
- ・ 施設、総合事業のサービス事業者の連携がとれていないと、高齢者の生活支援に繋がらない。多様な主体の参画が重要である。参画の目的、役割、責任を明確にし、連携を促進することが必要である。
- ・ また、個別のサービス・活動Aを行う際、連携の重要性を認識し、地域全体のマネジメントの観点からサービス・活動Aを実施する必要がある。多様な主体の参画を促進し、地域全体のマネジメントを強化することが必要である。
- ・ さらに、地域全体のマネジメントを強化するためには、地域全体のマネジメントの観点から、地域全体のマネジメントを強化することが必要である。

1 多様な主体の参画による効果

- 1 高齢者の生活から、地域の活動や社会参加を促進し、高齢者の生活の質を向上させる。
- 2 事業として実施することで、地域全体のマネジメントを強化し、地域全体のマネジメントを強化することができる。
- 3 総合事業の活用により、高齢者の生活の質を向上させ、地域全体のマネジメントを強化することができる。

## POINT

総合事業（サービス・活動A  
等）実施までの検討プロセス  
を整理





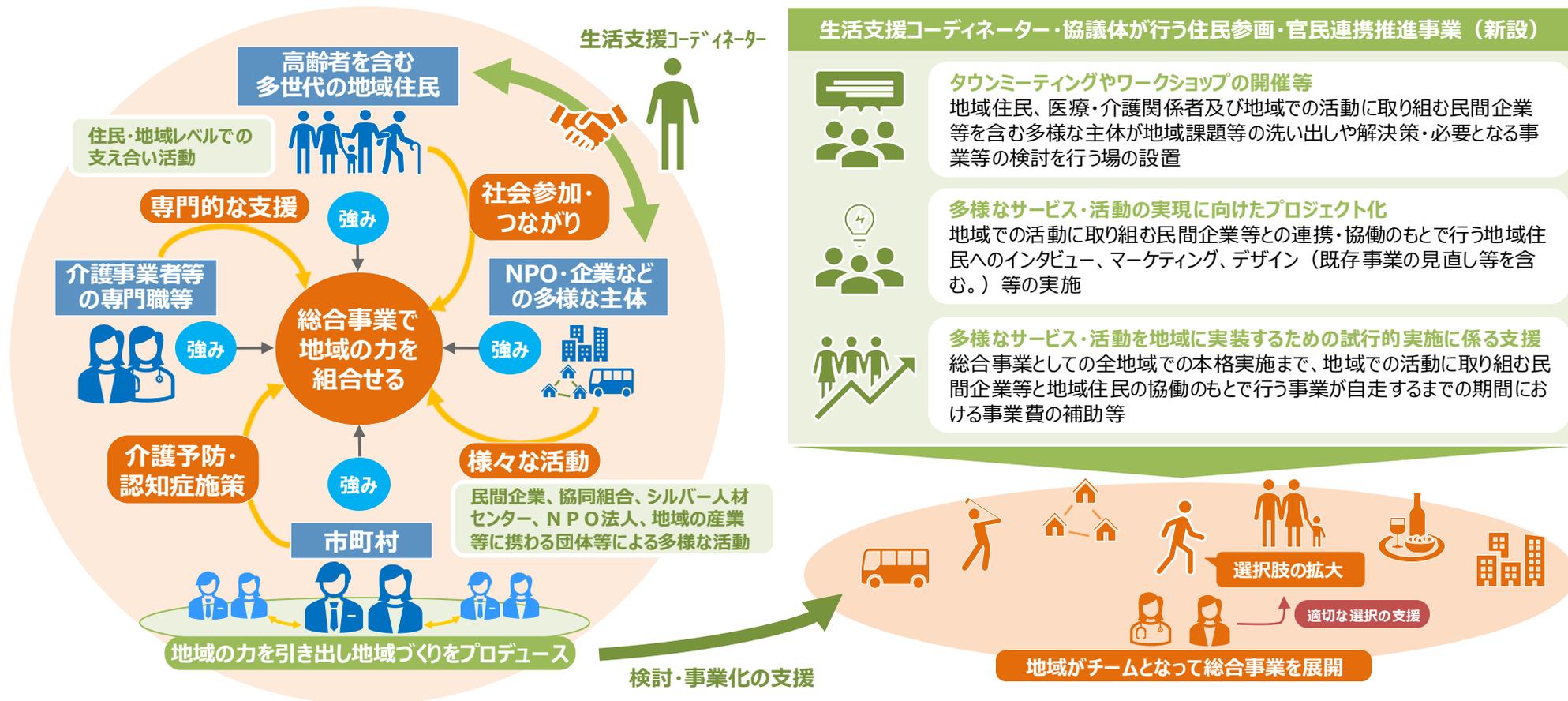
# 生活支援コーディネーターによる地域住民と地域の多様な主体との連携の推進

(令和6年度要綱改正：生活支援体制整備事業における住民参画・官民連携推進事業の創設)

○高齢者の目線に立ち、地域で一層の多様なサービス・活動の充実を図るためには、生活支援体制整備事業を活用し、地域住民の関心事項を引き出し、高齢者の日常生活を取り巻く様々な活動とをつなげていくことが重要。

○このため、生活支援体制整備事業について、住民や地域での活動に取り組む民間企業等とをつなげるための活動についての評価を拡充する。

生活支援体制整備事業の活性化を図るため、生活支援コーディネーターが、その活動や協議体運営を通じ、地域住民の活動とそれ以外の多様な主体の活動とをつなげる活動を評価するなどの検討が必要である。



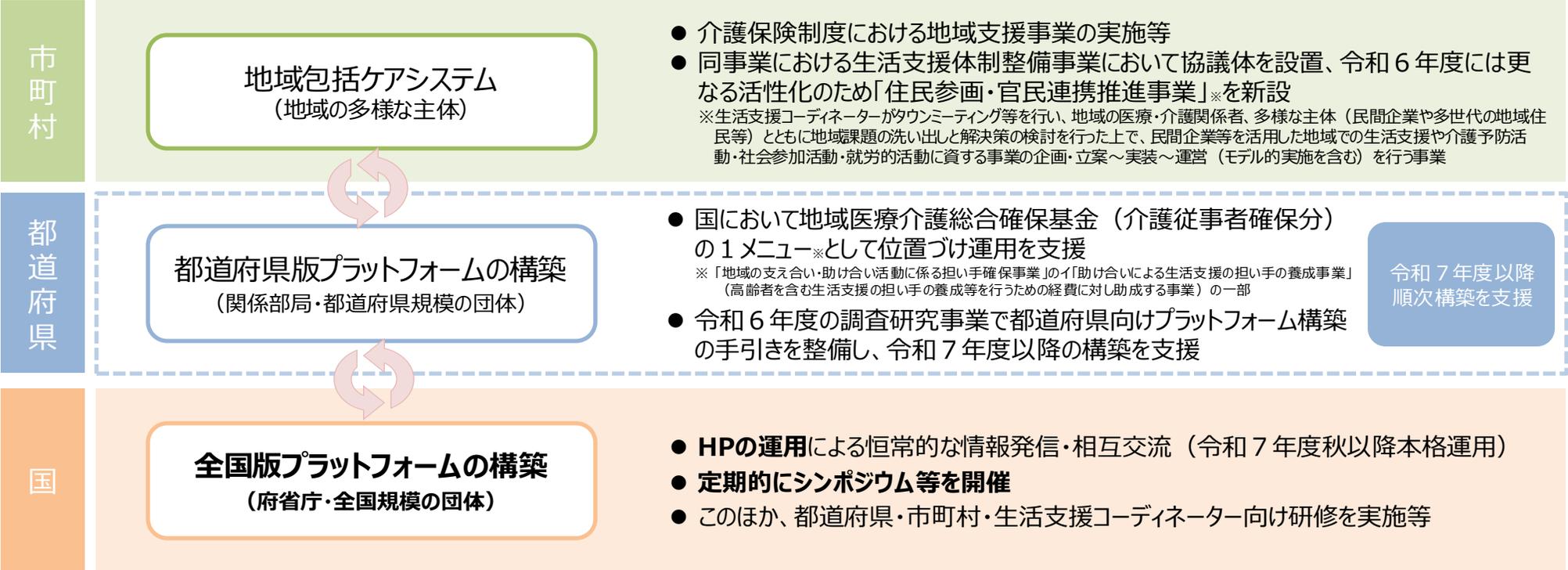
生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーターの配置・協議体の設置）の標準額

- 第1層（市町村区域） 8,000千円 × 市町村数（※）
  - 第2層（中学校区域） 4,000千円 × 日常生活圏域の数
- + 住民参画・官民連携推進事業の実施  
4,000千円 × 市町村数（※）

※ 指定都市の場合は行政区の数  
一部事務組合及び広域連合の場合は構成市町村の数

# 生活支援共創プラットフォームの構築

- 高齢者の地域での生活は、医療・介護のみならず、地域の交通・産業・商業などの経済活動や住民による取組など多様な主体との関わりの中で成立するもの。
- 市町村が、高齢者の尊厳ある自立した生活を支えるための地域包括ケアシステムの深化・推進を図るためには、こうした介護保険制度の領域を越えた活動との連携を深めることが重要であり、国・都道府県にプラットフォームを置き、地域共生社会の実現に寄与。

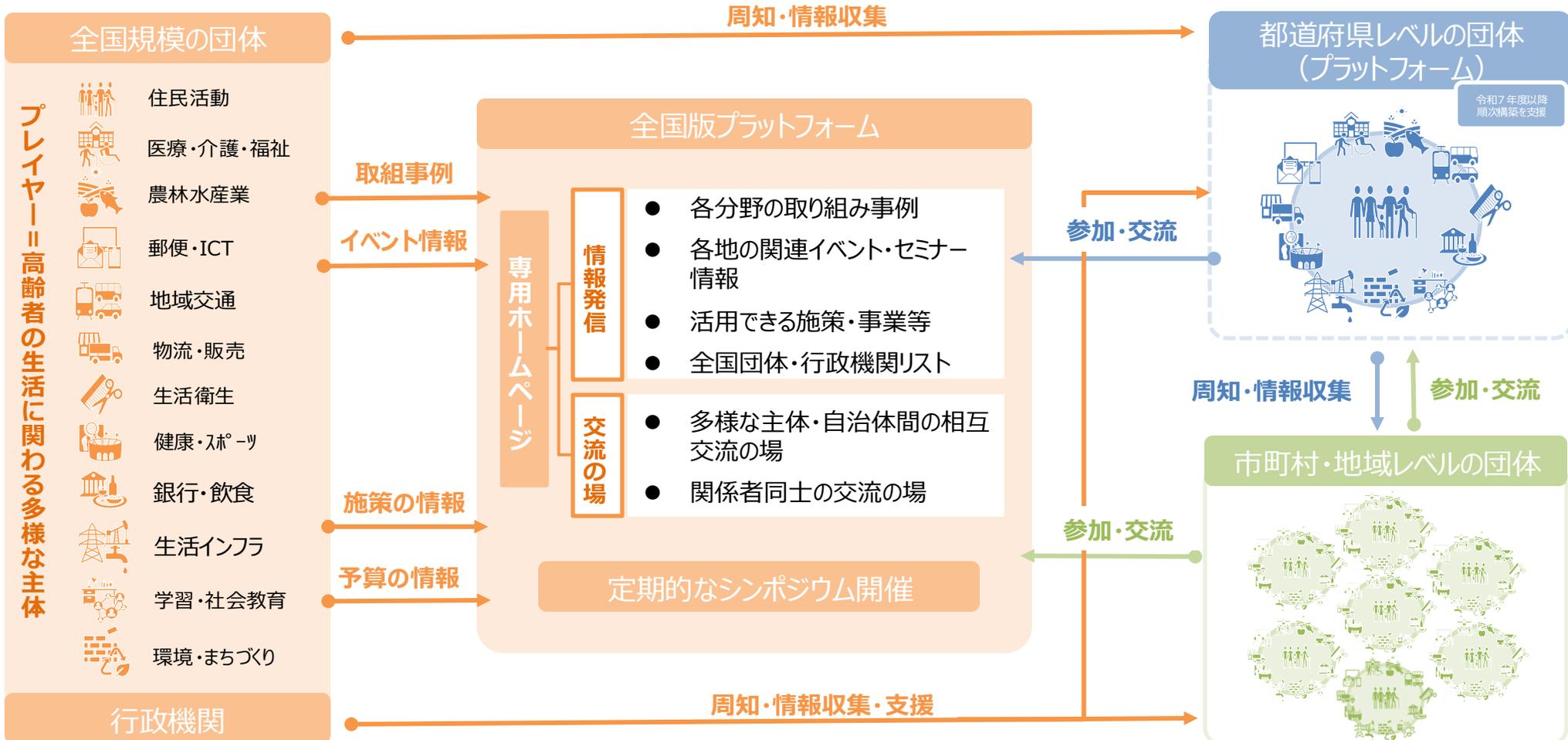


## 地域における多様な主体の共創の充実

掃除、洗濯、調理、買い物、見守り、移動（交通）、住まい、居場所、食事、健康、医療、介護、学び、文化・芸術、（多世代）交流  
 スポーツ・レクリエーション、まちづくり、ボランティア・地域活動、就労、後継者、防災・防犯、農地、環境保全

# 全国版プラットフォーム（イメージ）

- 全国版プラットフォームは、多様な分野の全国規模の関係団体等が、**地域づくりのプレイヤーとして集い、交流することで、高齢者を支える生活支援の取組を共創していく基盤**として位置づける。
- 具体的には、**専用ホームページやシンポジウム**での情報収集・情報発信や相互交流等を通じ、会員・加盟団体等による地域レベルでの取組の共創につながることを目指す。



# 第1回オンラインシンポジウムと今後のスケジュール

- 国に置くプラットフォームのイメージを提示するとともに、官・民と住民による地域づくりの実践事例について周知し、令和7年度以降の取組を進めることの契機とする。
- 今回は、医療・介護のみならず他分野の領域で地域づくりに関わるより多くの関係者がこの取り組みを知る契機となるよう、オンラインアーカイブによる国のPFの第1弾のコンテンツとして開催し長期間視聴可能なものとする。次回シンポジウムは令和7年度（秋頃を目途）のHP本格運用とあわせて行う。

公開中（R7.3収録）

R7.4～

R7.秋頃

## 第1回オンラインシンポジウム

### プラットフォームの構築について厚生労働省よりメッセージ

- プラットフォームの構築趣旨と今後の展開について

### 官・民・住民の共創による地域づくりの事例

多様な主体・行政による取組事例について地域づくりの専門家（東京都立大学 室田准教授）との対話形式で深掘り

- 兵庫ヤクルト販売株式会社
- 一般社団法人全国食支援活動協力会
- 東日本旅客鉄道株式会社・沿線まるごと株式会社
- 沖縄県地域包括ケア推進課

<シンポジウムの視聴はこちらから>

[https://www.jmar.co.jp/topics/2025/0501\\_000562.html](https://www.jmar.co.jp/topics/2025/0501_000562.html)



ホームページの構築

都道府県PFの構築支援

PFのプレイヤー参加の呼びかけ

事例の収集・分析・公表

伴走的な支援

関係団体・行政機関より  
地域の関係者に視聴よびかけ

ホームページの本格運用の開始

第2回シンポジウムの開催